

	発行者の略号	東書	教出
	書名	新しい社会 公民	中学社会 公民 とともに生きる
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	① 「主体的・対話的で深い学び」を通じて、持続可能な社会の実現に向けて今を問い、未来をともに拓く力の育成をめざしている。	① 市民的教養の基礎・基本を身につけ、社会を読み解き学び合い、主権者として生きる力を育み、持続可能な社会を創造する市民の育成をめざしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 知識・技能を習得するために、生徒のつまづきやすい事項を、巻末の「用語解説」で補足説明を加えて定着を図っている。 ② 単元全体を貫く問いの「探求課題」と、節ごとの課題の「探求のステップ」や「学習課題」の3段階で思考・判断した内容を、表現する力につなげることをめざす。 ③ 「みんなでチャレンジ」などの対話的な学習の場を設け、社会参画して他者と協働していく力を育成していく。	① 生徒が市民社会を築いていくうえで必要な知識や技能を習得し、市民としての教養を身につけ、勤労の意味や意義について考察を深めるように工夫してある。 ② 表現活動を中心としたテーマ学習「言葉で伝え合おう」では、6つの言語活動のテーマに取り組むことで真理を求める態度を養う工夫がされている。 ③ 「読んで深く考えよう」、学習コラム「公民の窓」を通して、社会参画をしていこうとする意識や主権者として共に生きる力を育むことができる。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い。	概ね良い。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 「みんなでチャレンジ」「チェック&トライ」の課題や、国連が2030年までに達成を目指す持続可能な社会(SDGs)の各テーマに取り組むことで、現代的な諸課題を読み解く態度を養う。 ② 理科など他教科との関連についてDマークが付けられ、関連を図る工夫がされている。環境・エネルギーなどのテーマに関し、「もっと公民」で地理・歴史・公民で共通して掲載し関連づけて展開できるように工夫している。 ③ ロールプレイング、ディベートの事例や「探求のステップ」など本時の学習事項を確認する作業課題などを通じて言語能力の育成を図ることができる。 ④ オリンピック・パラリンピックを取り上げ、文化的な役割を考えさせている。掲載されている文化財には、マークをつけ理解を深められるようになっている。 ⑤ 「探求のステップ」や「まとめの活動」を通して探求活動の答えを考えることで、体験活動や社会参画を考える内容になっている。 ⑥ 各章の最初に小学校で学習した写真・用語をマークで示し、小中の接続の配慮がなされている。高校3年生の18歳選挙権を踏まえた内容も盛り込まれている。 ⑦ 「スキル・アップ」で資料を使い、情報活用能力の育成を図っている。 ⑧ カラーユニバーサルデザインの観点から情報の区別が付きやすい。 ⑨ 「導入の活動」、「学習課題、チェック&トライ」「まとめの活動」という流れが生徒の理解を深める内容になっている。	① 授業の始めの「学習課題」を受け、資料の読み解きのために随時設けられている「読み解こう」を経て、最後に学習内容の「確認」・「表現」のコーナーの「問い」に取り組み、生徒が自ら学び、考える学習ができるようにされている。 ② 見開きページの下に「関連マーク」が付けられ、地理・歴史や技術・家庭科、理科など他教科や、SDGsとの関連を図る工夫がされている。 ③ 「公民の技」のコーナーでは、個人やグループでの活動を通して、公民の学習で身につけたい技能や表現力を養えるようにされている。 ④ 伝統や文化、宗教などについて取り上げ、新たな文化の創造や多様性の中で生きる寛容な社会を探求するように留意されている。 ⑤ 「言葉で伝え合おう」を中心に、グループでの学習活動が設置されている。 ⑥ 自社の小学校のキャラクターが成長した姿で登場し、関連付けが意識できる。見開きページの下に「関連マーク」が付けられ、小学校との関連が図れる。 ⑦ 「公民にアプローチ」では、社会科の資料活用を学び、情報活用能力の育成を図ることができる。 ⑧ 地名・人名などの固有名詞や社会科の用語には、ふりがなを付け、主要な文字には教育的配慮を施した書体を用いている。 ⑨ 生徒の日常生活や経験と関連深い身近な話題・内容が取り上げられているほか、巻頭・巻末のグラビアページなど、生徒の興味関心を喚起する写真資料が盛り込まれ、学ぶ楽しさや意欲が高まるように配慮されている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全6章の構成である。 ② 学習指導要領に示された内容をもとに構成されており、文体も「ですます体」を用い、わかりやすく記述してある。 ③ ふりがなを見開き2ページに付すことを原則としている。また資料が大きく掲載されていることが、さらに理解を助けている。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全7章の構成である。 ② 年間授業時数をふまえ、政治領域に重点を置くなど、生徒がじっくり追求しながら学習が展開できるように配慮されている ③ 平易な表記・表現で、側注や巻末には「用語解説」、索引の最後には「欧文略称」のコーナーを設け、読みやすい工夫がされている。各資料には、通し番号を付け、本文の資料との関連がわかるように資料番号が挿入されている。	
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	① 学習活動の流れがイメージできるアイコンや、興味・関心を高めるイラストを使用している。また「見方・考え方」を活用して現代社会の見方を考えていく工夫がされている。	① 各章の「学習のはじめに」で、章全体のポイントを提示し、各章に対応した「見方・考え方」が身に付くように、学習を深めていけるように配慮されている。授業導入の場面では生徒の興味・関心が高める写真・図版などの資料がわかりやすく提示され、円滑に授業に入っていける工夫がなされている。
	② 社会的な事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	② 「導入の活動」と「まとめの活動」をリンクさせ、単元のまとまりをもたせることができる。また「みんなでチャレンジ」に取り組むことで、さらに多角的・多面的に考察・構想・表現できる工夫がされている。	② 「読んで深く考えよう」では、時事的なテーマや地域の事例から資料を活用して考察力が高められるように配慮されている。「言葉で伝え合おう」では、身近な社会的な事象をテーマに議論や論述などの言語活動に取り組み、社会の一員として自覚を高められるように構成されている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③ SDGsなど今の社会の課題を考えていくために、社会科の3年間の学習を貫く「環境・エネルギー」「人権・平和」など5つのテーマへ取り組む課題を設けている。また特設ページの「もっと公民」で関連させた学習を展開できるよう工夫されている。	③ 「言葉で伝え合おう」では、発展的な学習課題として、「さらにステップアップ」のコーナーを設けて、考察がよりいっそう深められるような工夫が図られている。

	発行者の略号	帝国	日文
	書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	中学社会 公民的分野
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	① よりよい社会を目指して自分事として捉え、主体的に社会の形成に参画できる力を育むことをめざしている。	① 「新しい時代を担う主権者を育てる」を基本理念にし、「公民としての資質・能力の基礎」を育成することをめざしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 導入の「大きなイラスト」、「資料活用」「学習課題」を使って行う展開、「確認しよう」「説明しよう」の流れで、知識・技能を主体的に習得できる工夫がされている。 ② 習得した知識や言語活動を使って思考力・判断力・表現力を培うことができる「アクティブ公民」、各章末の「章の学習を振り返ろう」が設定されている。 ③ 実社会で活躍する人へのインタビューである「先輩たちの選択」や、持続可能な開発目標(SDGs)などの課題で、社会参画の育成をめざすことができる。	① 何を学ぶのか「学習課題」で明示し、「確認コーナー」で基礎的・基本的な知識・技能の定着をめざしている。 ② 学習課題の手掛かりとなる「見方・考え方」をすべてのページに設け、「アクティビティ」「深めよう」などを通し、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。 ③ 「明日に向かって」で、身近な地域の抱える課題を生徒が考え、社会参画を促すための手掛りとなる工夫がされている。
	(イ) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い。	概ね良い。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 導入では、大きなイラストを掲載した「学習の前に」で学習の全体像を把握し、「資料活用」「学習課題」を使って展開し、「説明しよう」「確認しよう」で振り返ることによって知識をつなげ活用し、深い学びの学習をめざす。「先輩たちの選択」「未来に向けて」の内容は身近で、対話的な学びへの配慮がされている。 ② 見開きページの左ページ下に、「小学校・地理・歴史との関連」コーナーが設けられ、地理・歴史との関連を図る工夫がされている。 ③ 「アクティブ公民」でディベートや「確認しよう」など本時の学習事項を確認する作業課題などを通じて言語能力の育成を図ることができる。 ④ 狂言師・野村萬斎さんのインタビューでは、第一線の人の話から伝統を多角的に考察できるほか、キャリア教育との関連も図ることができる。 ⑤ 「未来に向けて」で、体験活動や社会参画を考える内容になっている。 ⑥ 章の導入の「学習の前に」で、小学校との関連がわかりやすく明記されていて、つながりをイメージしやすい。高校3年生の18歳選挙権を踏まえた内容も盛り込まれている。 ⑦ 「資料活用」の資料が興味を持つ内容が多く、情報活用能力育成につながる。 ⑧ 挿絵・図表が見やすく関連性もあり、学習効果を高める工夫がなされている。 ⑨ 身近な具体例を使った資料、導入資料、学習課題、確認しよう・説明しようという流れが生徒の理解を深める内容になっている。	① 「アクティビティ」で「見方・考え方」について考え、社会の課題の解決を、考察・構想し深い学びをめざす「チャレンジ公民」が各編の最後に設けられている。 ② 見開きページの左下の「連携コーナー」で、歴史と地理とのつながりや、技術・家庭科、道徳との関連が明記してある。 ③ 「アクティビティ」では、主体的・対話的な問いや活動をし、言語能力の育成につながる作業ができる。 ④ 現代社会の文化と伝統について、ブラジルの食品を扱うスーパーや各国の文化など写真やイラストで紹介してある。 ⑤ 法教育、主権者教育、キャリア教育など生徒が今後必要な教材が充実している。 ⑥ 章の最初の見開きページの左ページ下に、小学校社会科とのつながりが明記されている。巻末には、高校で学ぶ「公共」との関連も紹介してある。 ⑦ 「情報スキルアップ」という情報の読み取りや活用する時に必要な知識・技能や注意する点が学習できるページがあり、情報リテラシー、社会的事象等について調べ、まとめる技能を身につけることができるようにしてある。 ⑧ 各編の導入ページに、その編の「見方・考え方」を身近な場面を漫画にして掲載し、大まかに編をつかむことができるようにしている。また、自由記述や空欄への記入をする解答方式が用意されている。 ⑨ 全ページでイラストの説明がわかりやすい。各編の導入ページに、その編の「見方・考え方」を、身近な場面からイメージしやすくする工夫がされている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。4部全8章の構成である。 ② 本文がわかりやすい表現になるように配慮されている。二次元コードの利用で、タブレットで閲覧できる。関連動画も閲覧し、自学自習への支援ができています。 ③ 読みやすいフォントで書かれ、グラフもわかりやすい色に配慮されている。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全5編の構成である。 ② 資料や写真も大きく印刷され、見やすく理解しやすい工夫がされている。デジタルマークを掲載してあり、教科書のホームページで動画を閲覧できる ③ フォントやふりがな、色、図版はUDに配慮した内容である。	
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	① 「パン屋の企画書を考えよう」のように、身近で興味ある実例が掲載されている。パン屋の店を持つ設定で考えることで、抽象的になりやすい経済面で、わかりやすく知識を習得し、活用できる内容になっている。	① 社会参画を促す「明日に向かって」が設けられている。持続可能な開発目標(SDGs)は、巻頭見返しで17の目標を示すほか、第1編から第5編までの学習の随所に記載し教科書全体で考えられる工夫がしてある。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	② 「資料活用」の資料が充実し、生徒が考えたい発問が用意されている。対話的な学びの面では、野村萬斎氏の話など「先輩たちの選択」ではキャリア教育に、防災備蓄倉庫をどこに設置するでは防災教育と関連し、社会参画に興味を持つ工夫がされている。	② 「アクティビティ」では、グループでの話し合いの場を設け、活動を促すことによって、多面的・多角的に考察、構想しやすくなっている。また、社会の課題を考える学習「チャレンジ公民」では、生徒が表現するための工夫がされている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③ 「アクティブ公民」「章の学習を振り返ろう」に取り組むことで、課題を追究・解決していくことができる工夫がされている。環境教育、人権・平和などSDGsを踏まえた課題が設けられている。	③ 「チャレンジ公民」を通し、この見開きページの学習内容に関する事項を掘り下げる。また理解を深める「公民+α」や、考えの手助けとなる「シンキングツールマーク」を利用し、課題を追究・解決していく教材の工夫がされている。

	発行者の略号	自由社	育鵬社
	書名	新しい公民教科書	【最新】新しいみんなの公民
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	① 生徒が基礎的な意味を理解できるように、基礎的な事項を厳選し、そこから再構成して主体的に学ばせることで、豊かな公民的な資質を養うことをめざしている。	① 課題を通して、生徒が「自分の立ち位置」を知り、「他人事」を「自分事」としてとらえ、現代社会への興味・関心を高め、自ら考えることができることをめざしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 生徒の発達段階を考え、基礎的な事項を厳選している。技能を習得するために、生徒の発達段階を考え教えるべき教材を体系化することで知識・理解を高めるようにしている。 ② 発展的に学習して理解を深めるために「もっと知りたい」を設け、自主的に学びより深い理解が得られるようにしている。 ③ 「学習のまとめと発展」、終章のレポート、ディベート等で、公民として必要な主体的、実践的な能力を伸ばしていくための工夫や、「ミニ知識」のコラムを通して、学びを人生や社会に生かそうとしている工夫がされている。	① 生徒が「自分の立ち位置」を知り、「他人事」を「自分事」としてとらえることで、生徒自身が生きる現代社会への興味・関心・意欲を高め、自ら考える工夫がされている。 ② 現代社会の理想と現実を、本文と豊富な資料、コラムで示すことで、多面的・多角的な考察力、公正な判断力、適切な表現力の育成を図る工夫がなされている。 ③ 新聞活用教育(NIE)を促すために新聞記事を複数掲載することで自分が生きている社会に対して、幅広い知識や教養を身につけ、真理を求める態度を養う工夫がされている。
	(イ) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い。	概ね良い。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 各章の最後の「学習のまとめと発展」において生徒が主体的に思考し表現することによって、公民に必要な能力を伸ばしていくよう工夫されている。 ② 技術・家庭、数学、理科、美術との関連が図られている。 ③ 各章の最後にロールプレイング、ディベートの事例や「課題の探求」など本時の学習事項を確認する作業課題などを通じて言語能力の育成を図ることができる。 ④ 「もっと知りたい」で伝統文化について取り上げている。また、巻末に日本の伝統工芸品の紹介をしている。 ⑤ 各章末の「学習のまとめと発展」の取り組み方を示している。また「やってみよう」や「課題の探求」は、体験活動や社会参画を考える内容になっている。 ⑥ 「ミニ知識」や「紹介する主な人物」などで小学校に関連した学習内容を扱っている。高校3年生の18歳選挙権を踏まえた内容も盛り込まれている。中学・高校の接続の配慮がなされている。 ⑦ 「やってみよう」の事例が生徒の興味・関心を持つ内容が多く、情報活用能力の育成につながる。 ⑧ 挿絵・図表が見やすく関連性もあり、学習効果を高める工夫がなされている。 ⑨ 導入資料、学習課題、確認しよう・説明しようという流れが生徒の理解を深める内容になっている。	① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進をサポートする「学習を深めよう」「やってみよう」「TRY」など豊富な言語活動が設けられている。 ② 基礎的・基本的な事項の確実な理解のため、項目数を厳選し、学習指導要領が示す公民的分野の標準時数100時間で学習が完結できる分量になっている。 ③ 「スキルアップ」を7カ所設置し、発表や議論のしかた、ロールプレイング、ディベート、KJ法、ランキング、ポスターツアーなど、公民の学習における基礎的な技能が身につけられるように工夫されている。 ④ 我が国の伝統と文化、宗教、生活様式などを写真資料や図表、コラムで紹介し、生徒が理解を深められるように配慮している。 ⑤ 2～5章の章末には、その章で学習した内容をふまえて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したり、未来の姿を構想できるような課題に取り組む「これから」を設け、学びに向かう力や人間性を養えるよう工夫されている。 ⑥ 小学校社会科で学習した関連内容については各章扉で、地理的分野・歴史的分野で学習した関連内容については該当する見開きで紹介することにより、小中の系統性と3分野の関連性を高め、スムーズに学習に入る工夫がされている。 ⑦ 「現代社会の入り口」の課題から各種の「メディア」活用の仕方を学び、情報活用能力の育成を図ることができる。 ⑧ 生徒にとってのわかりやすさに重点をおき、文字は読みやすい大きさとし、教育外漢字や固有名詞などにはふりがなを振り、丁寧な記述に心がけている。 ⑨ 生徒の生活経験と結びつきの強い身近な事例が取り上げられ、興味・関心が高まるように工夫されている。特に導入部分では、問題提起をして、生徒が資料などをもとに、興味・関心を高めながら課題に取り組んだり、学習を進めたりできるよう配慮されている。
(エ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全7章の構成である。 ② 図版資料が読みやすく工夫されている。 ③ 重要語句がゴシック(太字)になっている。また、本文に番号が書き入れてあり、関連する語句が分かるように工夫してある。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全5章の構成である。 ② 図版資料には通し番号がつけてあり、資料の大きさも大きく掲載されている。巻末に法令や年表のほか、日本の伝統文化の一覧表なども掲載されている。 ③ 色覚に関して個人差があることに留意して、図版・イラスト等の色彩や形、紙面のデザインにも配慮してある。	
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	① 学習内容に関連した写真やイラストをもとに社会的な見方・考え方を学習ができ工夫がされている。また「課題の探求」の内容も実社会に動きを示す有益な教材になっている。	① 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、「対立と合意」「効率と公正」について紹介し、具体的な事例を通して学ぶことができるよう工夫されている。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	② 「もっと知りたい」で深く掘り下げ、社会の興味ある問題を扱う「ここがポイント」「アクティブに深めよう」の課題に取り組むことで、学習した知識・理解をさらに多角的・多面的に考察・構想・表現できる工夫がされている。	② 領土に関する記述を充実させ、新聞活用教育(NIE)を促すために、新聞記事を多数掲載している。社会事象について多面的・多角的に考え、今日的課題について話し合ったり、よりよい未来を構想させたりする活動を入れる工夫がなされている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③ 単元を貫く「章や節の問い」を設定し、各「学習課題」「確認しよう」で考察を加え、章末の「章の学習を振り返ろう」で考えを深めていくことで、課題を追究・解決する活動が充実できる工夫がされている。	③ 問題解決型学習として「つかむ」ための資料、「調べる」ための資料、「まとめる」ための資料をバランスよく配置する工夫がなされ、持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探求させ、自分の考えをまとめるように工夫されている。